常任委員会活動

鳥取県議会には４つの常任委員会があり、定例会中の付託案件の審議に加え、閉会中も継続調査や県内外調査、勉強会などの活動を続けています。

総務教育常任委員会

11月定例会では、本委員会所管の令和元年度鳥取県一般会計補正予算（第３号）をはじめ４議案について慎重に審査を行った結果、いずれも原案のとおり全員一致で可決すべきものと決定した。

また、桜を見る会の実態解明を求める意見書の提出を求めるものなど、新規の陳情２件について慎重に審議を行った結果、いずれも不採択と決定した。

10月29日に実施した県内調査では、鳥取県立米子養護学校において、障がい者雇用の取組を調査するとともに、鳥取県立境港総合技術高等学校において、「地域との連携による防災教育のあり方」をテーマに出前県議会を開催した。

福祉生活病院常任委員会

11月定例会では、本委員会所管の補正予算など４件の議案と１件の陳情について、慎重に審議を行った結果、議案についてはいずれも原案どおり可決すべきものと決定し、陳情については、不採択と決定した。

また、８月末に行った第１回県外調査の結果を県施策の参考としてもらうよう、「精神障害者医療費助成拡大等に向けた取り組み」、「複合バイオマス資源の活用等」について提言を行い、執行部と活発な意見交換を行った。

そのほか11月21日には、米子市内において、「ひきこもり対策について」をテーマに出前県議会を開催し、関係団体と行政から取組状況を聞き、意見交換を実施した。

農林水産商工常任委員会

11月定例会では、本委員会所管の「令和元年度鳥取県一般会計補正予算（第３号）」など４件の議案について、慎重に審議を行った結果、いずれも原案どおり可決すべきものと決定した。

10月31日には、本県で初めての高度衛生管理型市場として、令和元年６月から１号上屋及び陸送上屋の供用が開始されている境漁港で、より新鮮な水産物を届ける体制を調査した。

また、「境港の水産振興について」をテーマに出前県議会を開催し、「さかいみなと漁港・市場活性化協議会」として活動している各団体等から取組状況を聞き取るとともに、課題や今後の方針などについて意見交換を行った。

地域づくり県土警察常任委員会

11月定例会では、令和元年度鳥取県一般会計補正予算（第３号）など６議案について慎重に審議を行った結果、妥当なものと認め、原案のとおり可決すべきものと決定した。

また、11月18日には「転換期を迎えた今後のインバウンド誘客戦略について」をテーマに米子市内で出前県議会を開催し、海外誘客の多角化など今後の方向性や受入体制などについて関係団体と意見交換を行った。さらに、同日及び翌19日には境港の港湾整備状況、琴浦大山警察署における災害時等の警察機能維持対策、地域公共交通・路線バス再編計画に係る成果と課題についてそれぞれ現地視察し、関係者と意見交換を行った。